

水と緑と太陽の里・宜野座村

ぎ の ぎ そ ん

宜野座村



市町村コード	473138	類型	Ⅱ-2
所在地	〒904-1392 宜野座村字宜野座296番地		
T E L	(098)968-5111	F A X	(098)968-5037
ホームページ	http://www.vill.ginoza.okinawa.jp		
指定地域	農業振興・産業高度・情通産振・情通産特・観光促進		

(組織)

(平成29年3月31日現在)

村長	とうま あつし 當 眞 淳 任期 H32.12.29 (2期)	副村長	きしもと ひろかず 岸 本 宏 和 任期 H29.3.31 (1期)
副村長	-	教育長	しらどう よしお 志 良 堂 芳 男 任期 H29.4.21 (1期)

(概要)

県下	19 位
総面積	H28.10.1 耕地 H28.7.15 宅地 H28.1.1
31.30	km ² 472 ha 926,699 m ²

県下	26 位
住基人口	H28.1.1 H27国調人口 H22国調人口
5,916	人 5,597 人 5,331 人
年少人口割合	20.4% (県全体 17.4%) 高齢化率 23.1% (県全体 19.6%)

住基世帯数	H28.1.1 H27国調世帯数 H22国調世帯数
2,306	世帯 2,003 世帯 1,823 世帯

有権者数	H29.3.2 男 女
4,561	人 2,262 人 2,299 人

議長	おどひさかず 小 渡 久 和	副議長	いしかわ みきや 石 川 幹 也
議員	条例定数 現議員数	任期満了日	
	12 12	H30.9.27	
	常任委員会	党派構成	無所属
	総務財政、産業経済	12	- - - - -

沿革	昭和21年4月1日 金武村より分離 村制施行
-	-
-	-
-	-
-	-

H28.4.1現在	合計	普通会計	特別会計
職員	93 人	85 人	8 人
人口千人当たり職員数	15.72 人	14.37 人	1.35 人
各4.1現在	平成28年度	平成27年度	平成26年度
職員数(普通会計)	85 人	88 人	89 人
類似団体	-	72 (76)	73 (74)
ラス指数	95.2	96.7	96.0

※類似団体()は修正値。ラス指数の()は国家公務員の給与改定特例法による減額措置が無い場合。

(村の花・木・鳥・魚・名所・旧跡/祭/行事等)

村花	つつじ	村木	琉球松
村鳥	めじろ	村魚	ミーバイ(ハタ)
名所・旧跡	漢那ダム、漢那ビーチ、松田鍾乳洞、かりゆしカンナタラソラグーナ等		
祭り、行事	宜野座村まつり、漢那ダムまつり、産業まつり、阪神タイガース春季キャンプ		
名産・特産	さとうきび、パイン、マンゴー、イチゴ、花卉、馬鈴薯		
姉妹都市	愛媛県内子町、イタリア共和国ベンヤ市		
その他	-		

(基本構想)

基本構想	H28～H37	中長期財政計画	有
基本計画	H28～H32	(10年計画	-)
実施計画	-	(-	-)

(平成29年度主要事業)

(百万円)

区分	事業名	新・継	事業費
補助	宜野座多目的スポーツ施設整備事業	新規	465
補助	リバーパーク整備事業	継続	322
単独	宜野座村海洋型健康増進施設機能改善事業	継続	191
補助	福山凝沈沈殿池整備改修工事	新規	125

(今後の主要プロジェクト)

(百万円)

区分	事業名	実施年度	事業費
補助	リバーパーク整備事業	H27～H33	2,798
単独	宜野座村IT産業等拠点施設改修事業	H29～H34	935
補助	福山進入路外1	H27～H32	417
補助	公営住宅等ストック総合改善事業	H28～H34	277

(広域市町村圏・広域計画)

北部広域市町村圏
地域経済活性化計画
-
-

(基地面積) (H28.3末)

米国軍	
基地面積	1,586.3 ha
市町村面積に占める割合	50.7%
自衛隊	
基地面積	0.0 ha
市町村面積に占める割合	-
合計	1,586.3 ha 50.7%
県面積に占める割合	0.70%

〔教育〕

(平成28年5月1日現在)

区分	施設数	児童生徒数
村立幼稚園	3園	83人
村立小学校	3校	479人
中学校	1校	205人
村立	1校	205人
村立以外	0校	0人

〔医療〕

(平成27年度)

区分	施設数	病床数
病院	1箇所	104床
村立	0箇所	0床
村立以外	1箇所	104床
診療所	1箇所	0床
村立	0箇所	0床
村立以外	1箇所	0床
住民千人当たり病床数		17.6床

〔財政〕

① 決算収支

(百万円)

区分	H25年度	H26年度	H27年度
歳入総額	7,084	7,737	7,324
歳出総額	6,799	7,565	7,157
形式収支	285	172	168
実質収支	123	117	121
比率	6.0%	5.8%	5.8%
積立金	364	332	365
積立金取崩額	348	197	259
実質単年度収支	△56	129	109

③ 公営事業会計等における繰入金の状況

(H27年度 百万円)

区分	実質収支	繰入金	うち財源補填的繰入金
国民健康保険事業	52	150	14
老人保健医療事業	0	0	
介護保険事業(保険)	0	0	-
後期高齢医療事業	0	16	
区分	実質収支	繰入金	うち基準外繰入
法非適			
下水道事業	4	34	29
-	0	0	0
-	0	0	0
-	0	0	0
-	0	0	0
法適			
上水道事業	29	94	94
-	0	0	0
-	0	0	0

④ 歳入の状況 (H27年度 百万円)

区分	金額	構成
地方税	566	7.7%
地方譲与税	31	0.4%
地方交付税	1,410	19.3%
普通交付税	1,273	17.4%
特別交付税	136	1.9%
国庫支出金	1,254	17.1%
県支出金	676	9.2%
地方債	165	2.3%
その他	3,222	44.0%
歳入総額	7,324	100.0%

〔産業〕

① 産業別就業者数 (H22四半期)

区分	就業者数	構成比
第1次	418人	17.3%
第2次	333人	13.8%
第3次	1,638人	67.9%
合計	2,413人	100.0%

〔福祉〕

区分	施設数	収容定数
保育所(H28.4.1)	3箇所	270人
村立	1箇所	70人
村立以外	2箇所	200人
生活保護率(H27年度平均)		13.02人
人口千人当たり		

② 村内純生産

(H25年度実数)(百万円)

分類	純生産	構成比
農林	580	5.6%
水産	112	1.1%
鉱・製造	0	0.0%
建設	1,278	12.4%
電気ガス水道	9	0.1%
運輸・通信	316	3.1%
卸売・小売	823	8.0%
金融保険不動産	1,106	10.8%
サービス	3,294	32.0%
政府サービス生産者	2,025	19.7%
民間非営利団体	656	6.4%
合計	10,278	100.0%

② 主要指標

(百万円)

区分	H25年度	H26年度	H27年度	順位	県平均	市平均	町村平均
財政力指数	0.30	0.30	0.31	24	0.35	0.51	0.29
標準財政規模 a	2,040	2,004	2,095	29	333,767	242,473	91,294
經常収支比率	85.5	81.8	79.5	7	85.3	86.4	82.6
人件費	30.8	30.1	29.1	29	23.4	22.6	25.4
扶助費	5.6	5.8	5.7	20	14.2	17.1	6.8
公債費	9.0	9.8	9.5	6	14.4	14.9	13.3
物件費	13.9	14.2	13.5	14	14.0	13.6	15.2
その他	26.2	21.9	21.7	27	19.3	18.2	21.9
実質赤字比率	-	-	-		-	-	-
連結実質赤字比率	-	-	-		-	-	-
実質公債費比率	6.7	6.4	6.3	10	8.7	9.3	6.9
将来負担比率	17.7	-	-		31.9	45.5	-
税徴収率	94.4	95.6	96.8	6	95.5	95.7	94.7
現年課税分	97.8	98.1	98.6	10	98.5	98.6	98.3
滞納繰越分	57.2	51.1	52.4	1	36.2	37.6	31.7
債務負担行為額 b	4	3	1				
b/a %	0.2	0.2	0.1				
地方債現在高 c	3,492	3,439	3,336				
c/a %	171.2	171.6	159.2	13			
積立金現在高	2,149	2,626	3,255				
財政調整基金	347	482	587				
減債基金	111	111	211				
その他特目基金	1,691	2,033	2,457				
住民1人当たり税負担(円)	97,094	95,762	95,626	19			
自主財源比率	52.9	46.4	48.6	2			

④ 歳出の状況 (H27年度 百万円)

区分	金額	構成
人件費	1,044	14.6%
物件費	1,053	14.7%
扶助費	606	8.5%
補助費等	1,652	23.1%
公債費	315	4.4%
普通建設事業費	1,036	14.5%
補助事業費	764	10.7%
単独事業費	261	3.6%
その他	1,451	20.3%
歳出総額	7,157	100.0%

〔行政の特色〕

「水と緑と太陽の里・宜野座村」を村づくりの目標として次の6つの方向を定めます。

- ①子ども達の笑顔あふれ文化を育み時代を担う「人づくり」
- ②生涯健やかで地域で支えあう「健康と地域福祉づくり」
- ③自然と共生した環境にやさしい「循環型社会づくり」
- ④魅力と個性にあふれた「産業づくり」
- ⑤安心・安全で快適な「環境基盤づくり」
- ⑥知恵と力を結集してみんなでつくる「むらづくり」